

令和7年度 入学式 校長祝辞

一日一日と春の躍動を感じるこのよき日に、令和7年度入学式を挙行了しましたところ、ご来賓の皆様におかれましては、公私何かとご多用の中ご臨席を賜り、新入生の前途をお祝いくださり、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心よりお礼申しあげます。今後とも、子どもたちの成長を温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を在校生はもちろん、教職員一同、心より歓迎いたします。

2週間ほど前、それぞれの小学校を卒業し、別れや寂しさを感じた皆さんが、今日、中学校の門をくぐり、新たな出会いと期待、そして少しの不安を胸に、この入学式に臨んでいることでしょう。これから始まる中学校生活への期待や楽しみを大切にもち続けてください。今のその気持ちがこれからの中学校生活の源になるからです。

さあ、今日から皆さんは、伝統と歴史のある茨田中学校の生徒です。最初は、小学校との違いに、戸惑いもあるでしょう。しかし、多くの先輩がいます。先生方もいます。安心して中学校生活をスタートさせてください。

中学校生活の始まりにあたり、新入生の皆さんに期待することを3つお話します。

1つ目は、自分から進んで学ぶ人になってほしい ということです。中学校3年間で、社会に出るための基礎となる知識や技能、課題を解決するための考え方や方法などを身に付けていきます。また、三年後には進路選択が控えています。自らの夢や目標を実現していくためにも、学習はとても大切になってきます。教科ごとに変わる先生方が、教え方を

工夫し、わかりやすい授業を進めていきますが、大切なのは、皆さんが自ら進んで学ぼうとする意欲と姿勢です。中学校では、「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へと変わらなければなりません。

新しい友達との学び合いの中で、「わかる」ことや「できる」ことを一つ一つ積み上げて、学ぶ楽しさや面白さをたくさん感じてください。私たちも皆さんと共に学んでいきたいと思っています。

2つ目は、思いやりをもち、助け合える人になってほしいということです。

自分勝手なわがままを言ったり、友達が嫌がることをしたりしては、気持ちの良い学校生活を送ることはできません。一人の友達のことをみんなが大切に思い、相手の気持ちになって、やさしい心遣いをすることが、居心地のよいクラスや学年を創ります。お互いの意見や考えの違いを認め合い、互いに高め合うことで、自分も集団も豊かに成長していけるのです。今日から、新しい友達と支え合って、楽しい中学校生活を送ってください。

3つ目は、夢や目標の実現に向かって努力し続ける人になってほしいということです。

メジャーリーグで長年活躍したイチローさんは、どんな時でも、素振りやスローイング、ストレッチなど、基礎を徹底的に繰り返す練習を、最後までやめることはなかったといいます。イチローさんはただひたすら、小さいことを丁寧に積み重ねることで、大きな成果につなげる、という生き方を貫いてきました。「継続は力なり」という言葉もあるように、皆さんも中学校生活の中で、コツコツと努力を積み重ね、自分自身を大きく成長させてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心

よりお祝い申し上げます。これからの３年間は、多感な思春期を迎え、心身ともに大きく成長するときでもあり、将来の夢や目標の実現に向けての基礎となる貴重な３年間になります。今後、お子様のすこやかな成長のために、教職員一同、全力で教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。お子様のことでご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

この茨田中学校で、２４７名の新入生の皆さんが、自分のすばらしさを発見し、輝いていけることを祈念しまして、式辞といたします。

令和７年４月３日

大阪市立茨田中学校長 齋藤 慶二